



人がまちを育み まちが人を育む
チャレンジあふれる都市・はんだ



— 第7次半田市総合計画をもっと詳しく知りたいときは —

第7次半田市総合計画

検索



令和3年3月
発行 半田市

〒475-8666 愛知県半田市東洋町二丁目1番地 電話 0569-21-3111(代表)

<https://www.city.handa.lg.jp/>





総合計画は、まちづくりの羅針盤!

半田市民が将来も安心して、幸せに暮らし続けることができるまちにするために、令和3年度から10年間の半田市のまちづくりの大きな方向性をまとめたもの、それが総合計画です。

半田市のまちづくりを進めていくうえで、もっとも重要な計画です。

オール半田でまちづくりを進めよう!

まちづくりを進めるためには、半田市に暮らす人々を始め、仕事や勉強、観光など、半田市に関わる全ての人々が力を合わせて取り組むことが大切です。

皆さんもこの冊子を読んで、10年後の半田市をどのようなまちにしたいか想像してみてください。

そして、自分にできるまちづくりと一緒に考え、オール半田でチャレンジしましょう!

半田市は、これからもみんなでまちづくりを進めていくダシ!



半田市観光マスコットキャラクター だし丸くん



新美南吉童話イメージキャラクター こん吉くん

そうだね! それじゃ一緒に、半田市が目指すまちづくりを見ていこう!

将来の都市像

人がまちを育み まちが人を育む

チャレンジあふれる都市・はんだ

半田らしい歴史・文化

先人たちのチャレンジ精神

イノベーション(変革)

学びと成長

市民協働

本市は「山車・蔵・南吉・赤レンガ」などの全国に誇る歴史・文化を受け継ぐ、魅力あるまちであり、そこには学ぶべき先人たちの情熱と挑戦する心(=チャレンジ精神)があります。

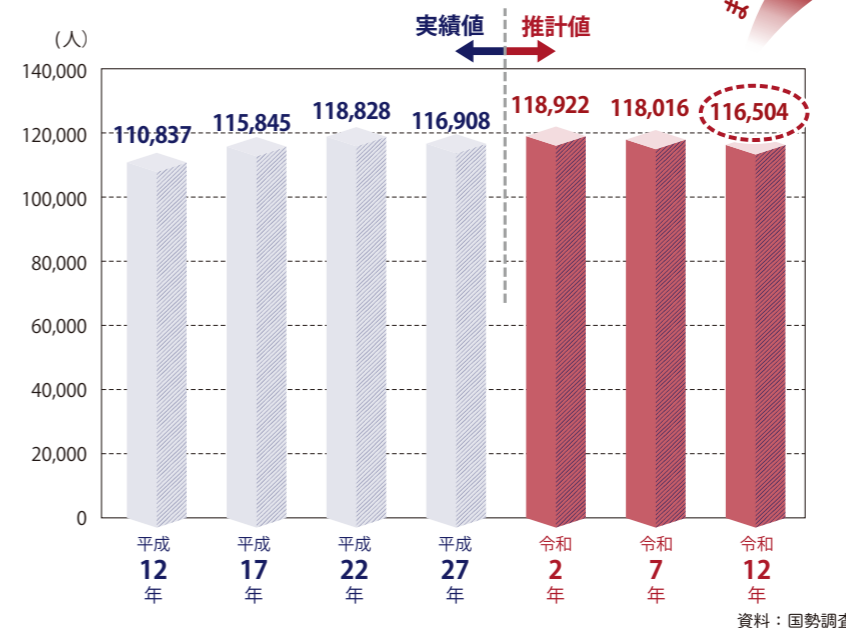
今日では、利便性の高い交通アクセス、多彩で活力ある地域産業、充実した学びと育ちの環境を特徴とする知多半島の中心的な都市に発展しています。

今後、人口減少を始めとする社会環境の大きな変化のなかで、快適で持続可能なまちを実現していくためには、これまでの人口増加に支えられたまちづくりを見直すとともに、チャレンジ精神をもってイノベーション(変革)を起こしていく、担い手自身の学びや成長が必要です。

このため、本市の特性を活かしながら、第6次総合計画における「協働のまちづくり」で培った市民力を結集し、市民・事業者・行政が共に学び成長とチャレンジを続けることで、人がまちを育み、まちが人を育む好循環が生まれ、さらにまちの魅力が向上していく都市を目指します。

半田市のいま

近い将来、人口減少社会を迎えます。



令和12年(2030年)の目標人口

118,000人

半田の魅力や住みやすさをPRして、人口減少のスピードをできるだけ緩やかにするよ。



半田らしい魅力がたくさんあります



半田赤レンガ建物（旧カプトビール工場）

積み重ねられた歴史・文化



半田運河と黒板囲いの醸造蔵



はんだ山車まつり



C11265
蒸気機関車

新美南吉と300万本の彼岸花



工業（臨海部の工業地帯）

地域を支える多種多様な産業



農業（畜産）



商業（商店街イベント）



保育の様子



学校の様子



充実した子育て・教育環境



尾州早すし

知多牛

いちご

恵まれた自然と豊かな食文化



農業（稲作）



ふるさと半田応援団会議

活発な市民活動や 市民力、つながり



ロビーコンサート



水辺クリーン・アップ大作戦



コミュニティ・スクール



まちづくり市民会議

暮らしやすい 生活環境



地区路線バスごんくる



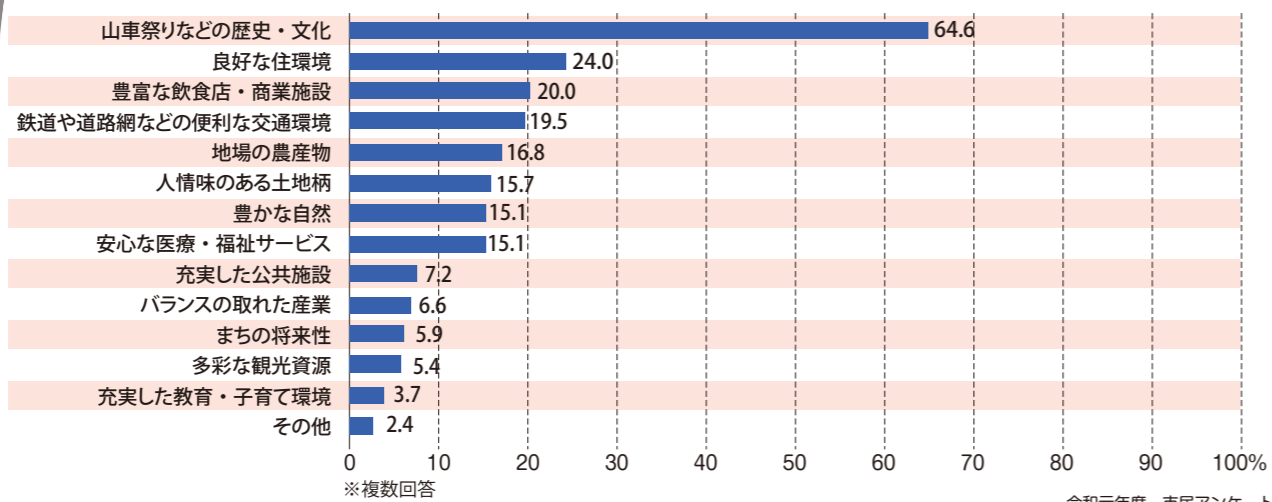
半田運動公園



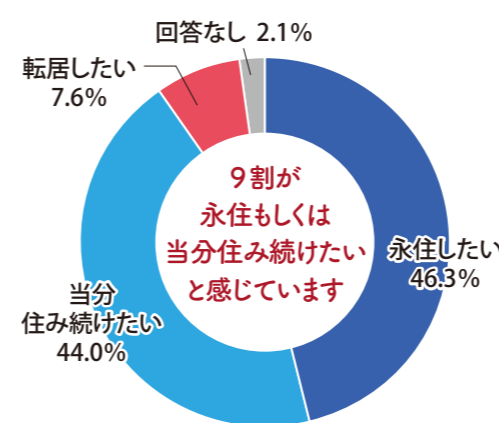
半田病院（新病院イメージ）

市民アンケートより

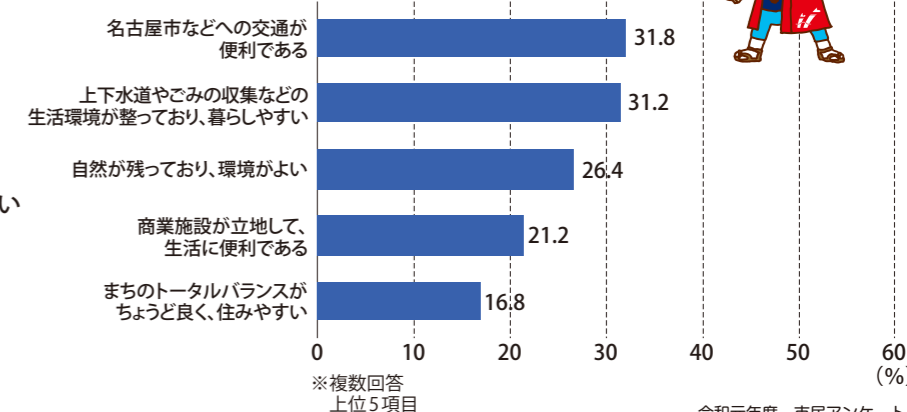
あなたにとっての半田市の魅力は？



これからも半田市に 住み続けたいと思いますか？



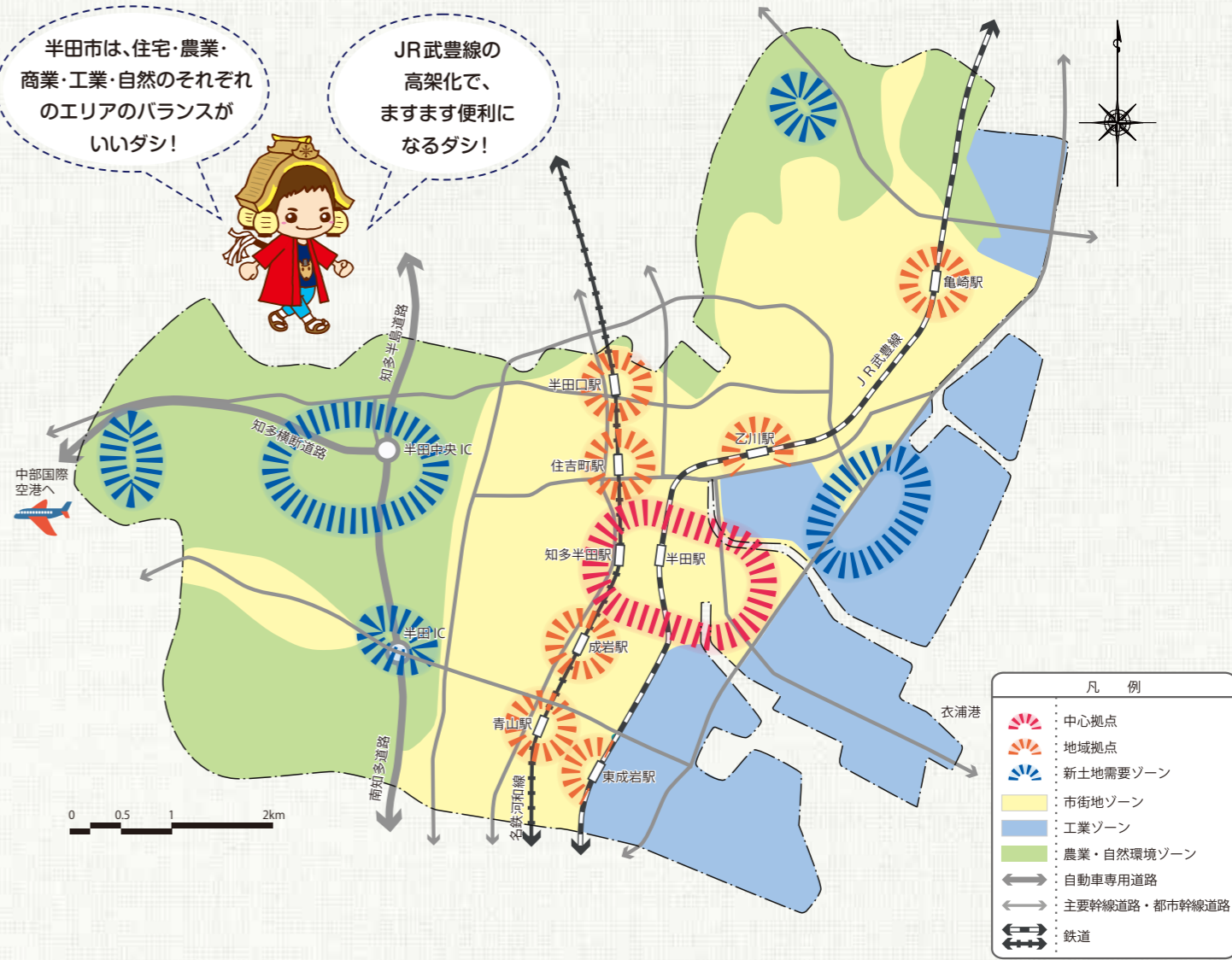
半田市に対し、どのような 良い印象をお持ちですか？



これからのまちづくりに必要なこと(まちづくりの主要課題)



まちのかたち(土地利用構想)



拠点・ゾーン別の土地利用の方向

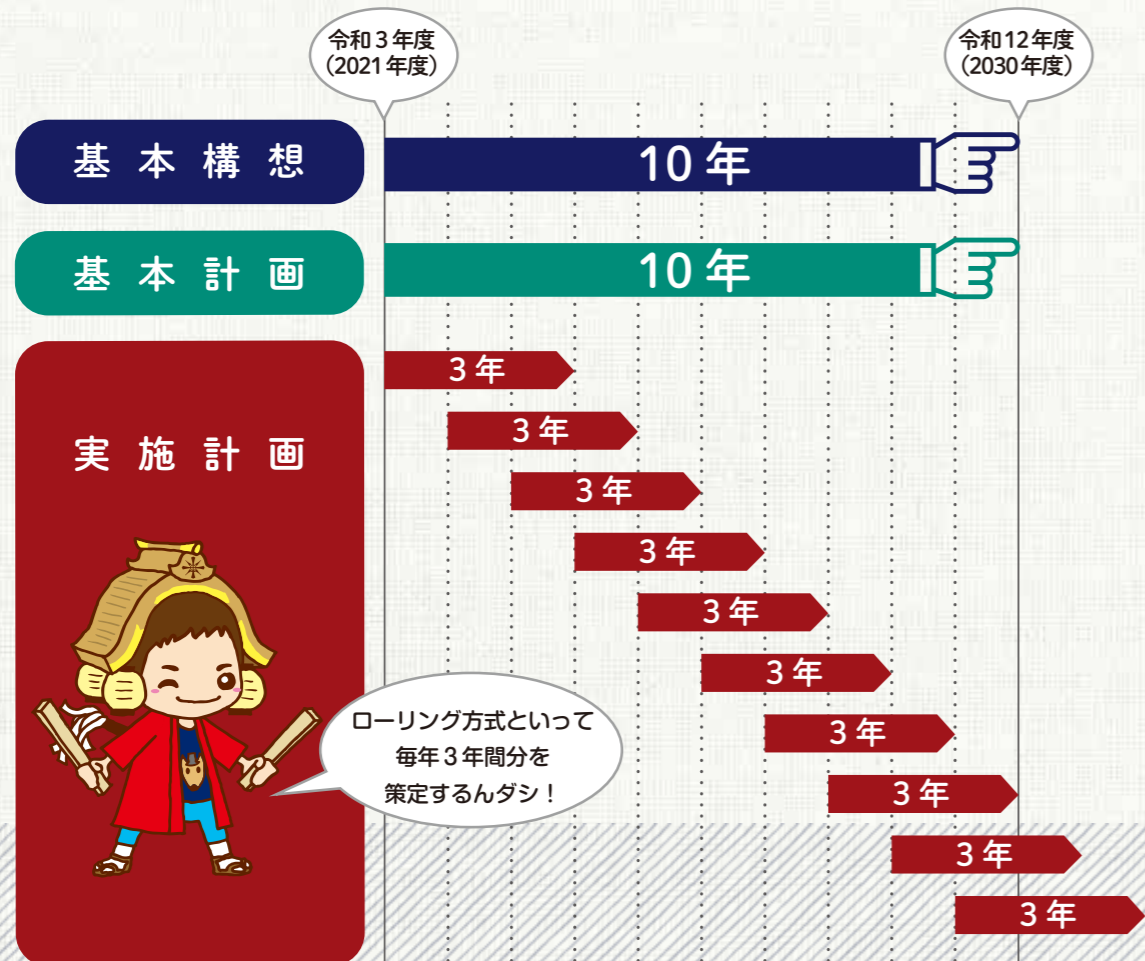
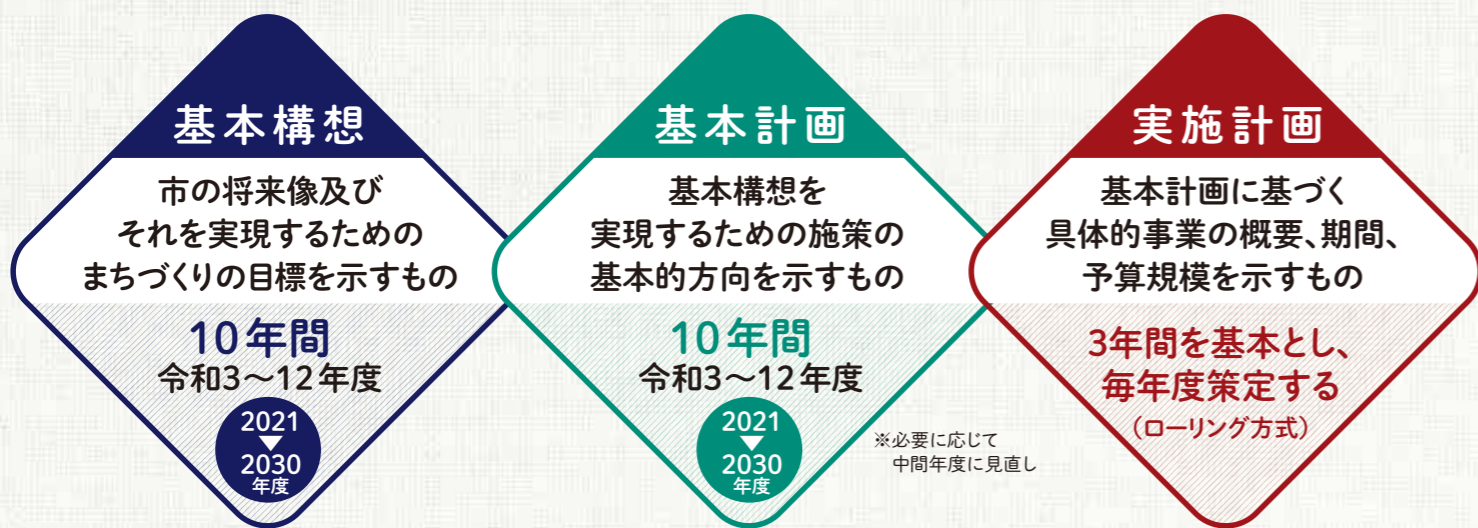
| | | | |
|---|--|----------------------------------|--|
| 中心拠点 名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺から市役所周辺までのエリア | 公的サービス・商業・文化など基幹的な都市機能施設の集積を図るとともに、市内外から訪れる人々が回遊したくなる魅力的で賑わいのある空間を創出します。特に、鉄道駅周辺においては、高度な土地利用の誘導を図ります。 | 市街地ゾーン 市街化区域(住居・商業系地域) | 商業・行政サービス等の生活利便性を維持・確保するとともに、都市基盤の整備・更新により便利で快適な住環境の向上を図ります。 |
| 地域拠点 鉄道駅周辺 | 中心拠点と公共交通でつながる結節点として、駅の利便性を高める施設や各地域の特性に応じた生活に必要な機能の確保により魅力の向上を図ります。 | 工業ゾーン 臨海部の工業地域一帯 | 衣浦港の機能拡充等により、工場や事業所の操業環境の確保を図ります。 |
| 新土地需要ゾーン 北部・西部の丘陵地など | 環境との調和を図りながら、地域経済の活性化につながる企業の立地誘導を図ります。 | 農業・自然環境ゾーン 市街化調整区域一帯 | 無秩序な開発を抑制し、優良農地の確保や緑豊かな環境の保全に努めます。 |

計画期間

令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)

計画の構成

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されます。



まちづくりの5つの柱(施策の体系)

本市の普遍的な都市像

健康で明るく豊かなまち

人がまちを育み まちが人を育む
チャレンジあふれる都市・はんだ



第1章

学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち



1 育ちの支援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 子どもたちが夢や目標を持ち、豊かな人間性・社会性、健やかな心と体が育まれています。
- 地域に見守られながら、子どもたちが安心・安全に楽しく、充実した生活を送っています。

1. 子どもと子育て家庭

- 1 切れ目のない体制の整備
- 2 健全育成のための環境づくり
- 3 子どもの個に応じた支援の充実
- 4 地域で子育てを支える仕組みづくり

2. 幼児教育・保育

- 1 幼児教育・保育の質の向上
- 2 幼児教育・保育の環境づくり

3. 義務教育

- 1 教育の質の向上
- 2 個に応じた教育の充実
- 3 学校環境の向上



- ・放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一生涯学習施設」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。
- ・キャリア教育について、コミュニティ・スクール制度などを活かし、これまでの学校・行政の取組に加え、保護者・地域の協力を促し推進力を高めます。

2 学びの応援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 生涯にわたり学び続けられる環境が整い、市民が互いに高めあう仕組みができています。
- 市民が多様な文化芸術に触れ親しみ、その価値を見出すことができています。
- 半田の誇る貴重な財産である山車を始めとする文化財や、新美南吉文学を始めとする文化が次世代に継承されています。

1. 学びの推進

- 1 市民の学び場づくり
- 2 学びを育む読書支援

2. 文化の振興と継承

- 1 文化に触れ親しみ環境づくり
- 2 文化財の保存と継承
- 3 地域文化への愛着と誇りの醸成



- ・市民が芸術や文化を発表する機会をまちなかで展開し、日常の中に芸術文化を感じられる仕組みを作ります。
- ・文化財の保存団体との協働により、祭礼・山車文化をより身近に感じられるよう、体験型の展示や講座等を行います。



ここから、
基本計画の内容を5つの
まちづくりで紹介して
いくダシ！

第2章

地球に配慮しながら成長する 都市の活力を育むまち



1 観光・産業



施策が目指す半田市の将来の姿

- 歴史・文化に根差した観光振興により、本市の魅力が広く認知され、交流人口が拡大し、地域経済が活性化するとともに、市民におけるまちへの愛着と誇りが醸成されています。
- 地域に活力を生む新たな企業立地、ビジネスの創出が進み、さらに観光・農業・商業・工業の連携などにより、本市の個性が光るブランドが確立するとともに、産業の担い手となる優秀な人材が活躍し、「産業力」が高まっています。

1. 観光

- 1 観光資源の魅力向上
- 2 観光プロモーションの強化等
- 3 広域連携による観光振興

2. 企業立地

- 1 企業用地の整備
- 2 企業立地の促進

3. 農業

- 1 農業経営の支援
- 2 農業基盤の維持向上
- 3 農業に親しむ機会の充実

4. 商工業

- 1 経営・創業環境の向上
- 2 魅力ある商業機能の形成
- 3 就業・就労環境の整備



- ・尾州早寿司を提供できる店舗の増加や、お土産品の開発を図り、半田市のグルメとしての寿司の認知度を向上させます。
- ・ロボットや先端素材関連など次世代につながる産業の誘致を推進します。

2 環境



施策が目指す半田市の将来の姿

- 市民、事業者、行政などが一体となって、2050年までにCO₂排出量実質“ゼロ”にする脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて取り組んでいます。
- 市民と事業者によるごみの減量化と資源化の取組が行われ、循環型社会の形成が進んでいます。
- 自然や生き物に対する市民の理解が深まり、環境保全活動や環境美化が進んでいます。

1. 脱炭素社会

- 1 家庭における脱炭素化の促進
- 2 事業所における脱炭素化の促進
- 3 環境学習などを通じた環境意識の向上

2. 循環型社会

- 1 家庭系ごみの減量化・資源化の促進
- 2 事業系ごみの減量化・資源化の促進
- 3 一般廃棄物適正処理の推進

3. 生活環境

- 1 良好な暮らしの環境づくり
- 2 衛生的な地域環境の形成と環境美化の推進



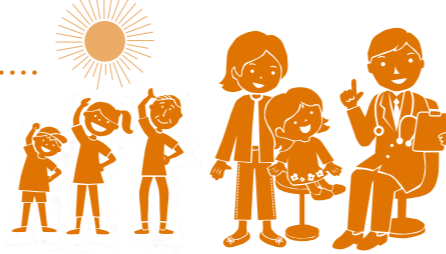
- ・ゼロカーボン戦略を策定し、市民、事業者、行政が一体となって、CO₂排出量実質ゼロに取り組みます。
- ・集団資源回収体制の見直しや公共資源回収ステーションの常設化などにより資源排出機会の拡大を図るとともに、資源化対象品目を拡大し、さらなる資源化を推進します。

CHALLENGE チャレンジ 2030 ニイゼロサンゼロ

第7次総合計画には、実現することで目指す将来の姿に大きく近づくことができるチャレンジ性の高い取組として、各分野に「チャレンジ2030」を掲げています。概要版では、その一部をご紹介します。

第3章

つながり助けあう 健康と笑顔を育むまち



1 地域福祉



施策が目指す半田市の将来の姿

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支えあいのまちづくりが進んでいます。
- 高齢者の社会参加が進み、安心して生活するための支援体制が充実しています。
- 障がい者に対する理解促進・支援充実が進み、地域で活躍する障がい者が増えています。



1. 地域福祉

- 1 支えあいの地域づくりの促進
- 2 相談支援の充実
- 3 福祉人材の育成

2. 高齢者福祉

- 1 地域包括ケアシステムの推進
- 2 介護予防と認知症対策の推進

3. 障がい者福祉

- 1 障がい福祉サービスの充実
- 2 誰もが支ええられる地域づくりの推進



・社会情勢の変化等により生じる新たな福祉課題について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを協議検討する体制を整備します。
 ・地域貢献に取り組む民間企業は、見守り、食事、買い物といった生活を支える分野に加え、外出や趣味など高齢者の社会参加に関する幅広いノウハウがあり、公的サービスが否かを問わない包括的連携に取り組むことで市民への豊富なサービス提供につなげます。

2 健康



施策が目指す半田市の将来の姿

- 一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組み、誰もがその人らしく、いきいきと過ごしています。
- 一人ひとりの健康づくりの取組を家庭、学校、職場、地域など、社会全体で支援する環境が整っています。
- スポーツを楽しむことを通じて、心身ともに健康でいられる市民が増えています。



1. 健康づくり

- 1 健康寿命延伸に向けた取組の促進
- 2 健康診断を活用した健康づくりの促進
- 3 感染症予防の推進
- 4 こころの健康づくりの推進

2. スポーツ

- 1 スポーツに触れる機会の拡充
- 2 「みる」「する」「ささえる」スポーツの環境整備
- 3 スポーツ施設の魅力向上



・高齢者の心身の課題に対応するため、運動、口腔、栄養、社会参加等の観点から、高齢者の保健事業及び介護予防を一体的に実施します。
 ・ハーフマラソン等、新しい大規模スポーツイベントを開催します。

3 医療体制



施策が目指す半田市の将来の姿

- 健康や病気について気軽に相談でき、病気の早期発見・重症化予防のための充実した支援を受けることができます。
- 病気の高度急性期から回復期、療養期まで切れ目ない医療を身近な地域で安心して受けることができます。



1. 地域医療体制

- 1 連携強化による地域医療の充実

2. 半田病院

- 1 持続可能な医療体制の構築
- 2 新たな病院の整備



・地域医療連携推進法人を設立することで、知多半島医療圏における医療機関等(公的及び民間病院、診療所、介護事業者等)の相互の機能分化や、人材交流、業務の連携等を推進し、地域における質の高い効率的な医療提供体制を構築します。

第4章

安心・安全で快適な生活 質の高い暮らしを育むまち



1 安心・安全な社会



施策が目指す半田市の将来の姿

- 大規模災害時の被害を最小限に抑え、災害に強いまちが形成されています。また、市民や地域の防災意識が高まり、逃げ遅れのない避難体制が確立されています。
- 交通安全意識の高まりや安全な歩行空間の整備により、交通事故が減少し、誰もが安心して外出することができるようになっていきます。
- 地域、警察、学校関係者などが連携し、防犯意識の高まりにより犯罪が発生しにくい環境が整っています。
- 消防施設の強化や適正な指揮体制の確立など、各種災害への対応能力が高まっています。また、市民による応急手当が普及し、救命効果が高まっています。



1. 防災・減災

- 1 災害に強いまちづくりの推進
- 2 地域防災力の向上

2. 交通安全

- 1 交通安全対策の推進

3. 生活安全

- 1 地域の防犯力の向上
- 2 消費生活支援の推進

4. 消防・救急

- 1 消防体制の強化
- 2 救急体制の高度化



・下水道施設やため池、河川など様々な排水施設を組み合わせた総合的な治水対策を実施し、想定を超える豪雨による浸水被害を軽減します。
 ・住民が主体となる避難所運営の取組を先進的なモデル事例として、市域全体の自主防災組織の防災活動に取り入れます。

2 都市空間



施策が目指す半田市の将来の姿

- 名鉄知多半田駅からJR半田駅を中心とする中心市街地は半田市の顔として、一体的に利用され、魅力と賑わいにあふれています。また、住宅地は便利で快適な暮らしやすいまちが形成されています。
- 歴史・文化が薫る半田らしい景観のまちなみが形成されています。また、公園・緑地は市民に愛着を持って利用され、子どもから高齢者まで誰もが楽しめ、憩い安らげる場になっています。
- 社会情勢の変化に対応した公共交通体系の構築により、市内を円滑に移動できる交通利便性が向上しています。



1. 市街地

- 1 中心市街地の基盤整備
- 2 中心市街地の魅力向上
- 3 良好な住環境の形成

2. 景観・公園

- 1 景観形成の推進
- 2 公園・緑地の魅力向上

3. 移動環境

- 1 公共交通手段の利便性向上
- 2 鉄道の利用促進と駅周辺環境の整備



・名鉄知多半田駅、JR半田駅、半田運河のそれぞれの特性を活かしながら一体的な利用を図るため、中心市街地の核となる民間活力を導入します。
 ・大規模な都市公園に多くの人が集い、若者や家族が楽しめるよう、民間活力を導入した整備を行います。

3 都市基盤



施策が目指す半田市の将来の姿

- 交通体系や道路空間が整備され、安全で快適な道路交通環境が形成されています。
- 安心・安全な水道水が安定的に供給されています。
- 下水の適正処理により、衛生的で快適な生活環境が保たれています。
- 海上物流を支える港湾施設の充実が図られるとともに、市民にとって親しまれる環境が形成されています。



1. 道路

- 1 道路の整備・円滑化
- 2 道路施設等の適切な改修・管理

2. 水道

- 1 水道事業の経営基盤強化
- 2 水道の安定的な供給

3. 下水道

- 1 下水道事業の経営基盤強化
- 2 下水道による生活環境の向上

4. 港湾

- 1 港湾機能の強化と利用促進
- 2 親しまれる港づくり



・関係機関と連携し、西三河方面とつなぐ道路の渋滞解消を図ります。
 ・衣浦港の海面処分用地を工業用地やふ頭用地等に利用するため、港湾関係者と連携を図りながら早期事業化に向け促進します。

第5章

互いを尊重し知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち



1 協働



施策が目指す半田市の将来の姿

- 多様な市民ニーズや地域課題について、市民と行政が情報を共有し、お互いの立場を尊重しながら一緒に考え、協働で取り組むことにより解決できています。
- 小学校区でのコミュニティ活動や幅広い世代による市民活動が自主的かつ活発に展開されています。

1. 情報共有

- 1 広報の推進
- 2 広聴の推進
- 3 協働の推進

2. コミュニティ活動

- 1 コミュニティの活動支援

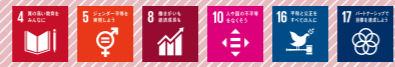
3. 市民活動

- 1 市民活動団体の支援
- 2 中間支援機能の強化



- ・小学校区コミュニティ、市民活動団体等の活動拠点づくりを行います。
- ・コミュニティ、市民活動団体等が自主的に財源を確保できるよう、企業スポンサー制度、寄附、クラウドファンディング等を活用した仕組みを構築します。

2 共生社会



施策が目指す半田市の将来の姿

- 国籍、文化、性別などにかかわらず、すべての市民が、多様性を認めあいながら、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる社会が形成されています。

1. 多文化共生社会

- 1 多文化共生意識の醸成
- 2 外国籍市民等の暮らしの支援

2. 自分らしく生きられる社会

- 1 性別にとられない社会の推進
- 2 ワーク・ライフ・バランスの推進



- ・外国籍市民等が地域活動に参加できる仕組みづくりを行います。
- ・家事、子育て、介護などをしながら働きたい人が働き続けられる環境づくりを事業者と協働で取り組むことにより、モデル事業所をつくれます。

3 行財政



施策が目指す半田市の将来の姿

- 社会情勢の変化に柔軟に対応するとともに、広聴活動の推進を通じ市民ニーズを的確に把握し、質の高い行政サービスが提供されています。
- さまざまな財政指標から見て、健全で持続可能な財政運営が行われています。

1. 行政運営

- 1 行政サービスの向上
- 2 職員・組織の能力向上
- 3 公共施設の維持管理と更新
- 4 広域連携による行政の推進

2. 財政運営

- 1 公平・公正な財政運営
- 2 戦略的な財源の配分



- ・市税、使用料、手数料等のキャッシュレス決済を推進します。
- ・広域的な視点を持つ職員の養成並びに業務執行能力の向上を図るための研修を近隣市町と実施します。

SDGsは世界共通の目標

SDGsは、「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」の略で、「エス・ディー・ジーズ」と読みます。

令和12年(2030年)までに「誰一人取り残さない」社会を実現するための世界共通の目標で、健康や教育、生産・消費、気候変動などに関する17の目標があります。それぞれの目標について、誰もが分かりやすいようにアイコンで表されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第7次総合計画とSDGs

第7次総合計画では、基本計画の各基本施策とSDGsの目標を関連付け、施策を展開することで、SDGsの推進を図ります。

私たちの暮らしに身近なSDGs



資源とごみをきちんと分別



食べ残しゼロ



みんなとなかよく



こまめに電気を消す